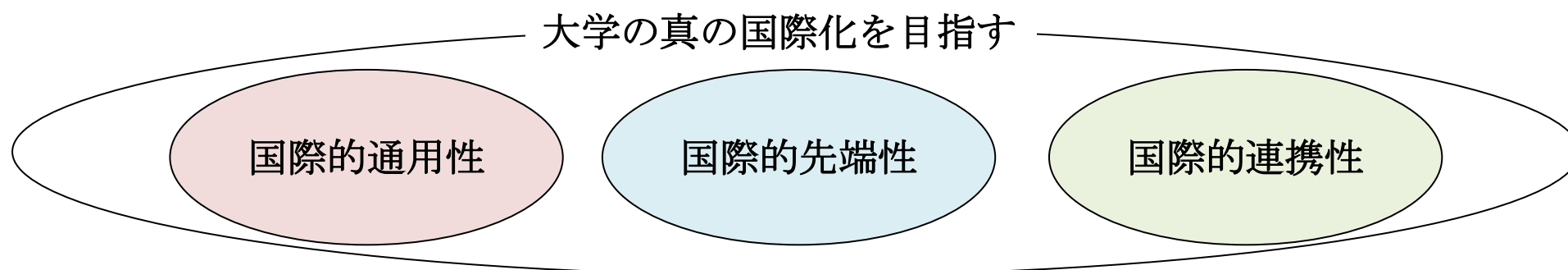


信州大学は、国際化社会が進展する中で、国際的に競争力のある教育・研究拠点を構築・強化するため、単なるキャンパスの国際化に留まらず“大学の真の国際化”を目指す。このため、国際的通用性のある質の高い教育課程と教育内容を通じて、国際社会で活躍できる有為な人材を育成するとともに、国際的に評価される世界トップレベルの研究を中核として特色ある世界水準の研究を推進する。また、留学生の受入拡大と日本社会への就業機会の拡大などの外部要因を踏まえ、大学院により軸をおいた質の高い留学生受入および学生・研究者の留学・派遣などを本学の独自性を発揮しつつ戦略的に推進していく。



1. 国際的通用性を高める

世界に通用する質の高い教育体制を構築し、国際社会で活躍できる有為な人材を育成する。

①世界の多様な文化・思想を受容しうる基盤の形成

- ・文化・歴史・言語などの共通教育を通じ、多文化理解を涵養する。

②国際社会で活躍できる高度専門人材の育成

- ・大学院を軸に、社会人としての基礎的能力に加えて、語学力・情報収集能力、分析能力、異文化を理解する能力等に優れた人材を育成する。
- ・国際化社会に対応できる国際感覚が涵養できる環境をつくる。(異文化サロン、交流イベント・旅行など触れ合う機会の増大)

③国際的通用性に配慮した教育課程と教育内容等の充実

- ・学位の国際的通用性との観点から教育課程を検討する。
(JABEE, GPA 等の整備など)
- ・英語等外国語による教育(講義、セミナー等)を目的に応じて実施する。
- ・実践的な英語教育により国際的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・諸資料(シラバス、履修手引きなど)の英訳化・多言語化、ホームページによる情報発信など国際広報活動を充実する。

2. 国際的先端性を高める

国際的に評価される世界トップレベルの研究を中核として、国際化時代をリードしていく特色ある世界最高水準の教育研究拠点を形成する。

①世界最高水準の研究基盤を基に、複数の世界的先端研究拠点の構築

- ・例えば、グローバル COE、地域イノベーション創出総合支援事業などの採択を受け、国際ファイバー工学教育研究拠点などの世界へのハブ機能となる拠点を構築する。
- ・国際的に評価の高い論文誌、学会・シンポジウムなどでの存在感を高める。

②国内外の大学、教育研究機関などとの連携により、研究ネットワークの形成。

- ・特色ある研究領域で研究ネットワークを形成する。
- ・国際連携研究を推進し、世界的リーダーシップを発揮する。
- ・地域に根ざした研究を基盤に国内外の教育研究拠点への展開を図る。

③次世代の中核を担う研究者の育成

- ・世界トップレベルの研究者を受入れ、国際的研究ネットワークを形成しつつ、相互交流を図る。
- ・国際性や専門性を備えた人材を多様な方法により採用・育成する。

3. 国際的連携性を高める

意欲的で優秀な質の高い留学生、先進的な研究者との相互交流を活発化させ、国際的な人材育成・人脈形成、異文化理解教育の拠点となる。

①外国人留学生、研究者の受入及び本学学生の留学、教職員の海外派遣の促進

- ・国際化時代、留学生30万人計画などを視野に入れた、各部署の個別事情に応じた外国人留学生・研究者の受入計画を促進する。
- ・本学学生の海外留学や教職員の海外派遣、海外からの留学生や研究者等の受入のための体制・環境を整備する。
- ・教職員の国際的対応能力および組織力の向上を図る。

②国内外の大学との連携強化

- ・戦略的な協定校開拓と友好関係の強化、大学間ネットワークなどへの参加などを通じて重層的な交流ネットワークを構築していく。
- ・協定校とのダブルディグリー制度(複数の大学から夫々学位を授与されるプログラム)の拡充、国際交流イベントの実施、学生・教職員の相互交流の推進などの活動を実質化する。

③地域社会が多様な文化をもつ外国人と共生できるよう、地域社会の国際化への積極的支援

- ・国際理解教育、異文化理解教育、留学生と地域住民との交流などを通じ、地域住民の異文化理解を促進する活動に積極的に協力する。
- ・国際的広報活動(ホームページも含む)を強化する。
- ・留学生ネットワークの構築を進める。